

# 令和7年度(2025年)公益財団法人 音楽文化創造 事業報告

当財団は、平成6年(1994年)に制定された「音楽文化の振興のための学習環境の整備に関する法律」(略称:音楽振興法)の趣旨に基づき、音楽に関する文化活動を幅広く振興するとともに、生涯学習の一環としての音楽学習の活性化を図り、もって我が国の音楽文化の発展と音楽を通じた国際相互理解の促進に寄与することを目的として活動している。令和7年度はこの目的に沿って事業を展開した。

## 【公益目的事業】

### 1. 音楽に関する国内外の協議会、講演会等の開催及びその開催のための協力 「国際音楽の日」の普及のための事業、その他音楽を通じた国内外の文化交流促進事業の実施

当財団認定の生涯学習音楽指導員の全国組織である全国生涯学習音楽指導員協議会は音楽振興法推進の精神に基づき、全国各地域の音楽文化振興と生涯音楽学習の普及推進を行っている。それらの活動の一環として年一回「国際音楽の日」の普及および音楽を通じた国内外の文化交流促進を目的にイベントを開催している。今年度は以下を実施した。当財団はその活動に協賛し支援を行った。

- <名称> FORUM in 国際音楽の日 2025 大阪  
～いつでも♪どこでも♪誰とでも♪音楽でつながる～
- <テーマ> いのちと音楽
- <趣旨・目的> 持続可能な社会、社会の課題の解決に音楽がどのような役割を果たすのか、個人の人生と音楽、日々の生活と音楽、様々な視点から「いのちと音楽」について考察し共有する
- <日程> 8月30日(土)13:30～16:30 講演とワークショップ  
8月31日(日)11:00～13:00 会員によるコンサート
- <会場> ATC南港サンセットホール
- <主催> 全国生涯学習音楽指導員協議会
- <主管> 「FORUM in 国際音楽の日 2025 大阪」実行委員会 (全国協議会大阪支部)
- <協賛> 公益財団法人 音楽文化創造
- <後援> 文化庁、大阪府、大阪市、大阪府教育委員会、大阪市教育委員会  
ヤマハ株式会社、株式会社河合楽器製作所、鈴木楽器販売株式会社  
株式会社ヤマハミュージックジャパン  
一般財団法人日本青年館、一般社団法人大阪教育文化振興財団、一般社団法人全国楽器協会

### <プログラム> (敬称略)

#### 1日目

基調講演:音楽と共に生きる ～いのちに寄り添う音楽の力～

講師:大阪音楽大学学長 森本 友紀

講演:あなたにとって音楽とは? 音楽は薬

講師:医師、笑い学会副会長 昇 幹夫

#### ワークショップ

講師:打楽器奏者、リズムインストラクター 山本 晶子

2日目  
生涯学習音楽指導員によるコンサート

<参加者> 200名 (2日間合計)

2. 「国際音楽の日」の普及のための事業、その他音楽を通じた国内外の文化交流事業の実施

音楽振興法第7条に定められた「国際音楽の日」を広く普及することを目的としたコンサートやイベントなどを実施する音楽団体に対し助成を行った。

<国際音楽の日記念事業 選考委員会>

開催日:2025年3月31日(月) (敬称略)

委員長: 久保田慶一

公益財団法人音楽文化創造 理事、日本大学大学院 講師  
放送大学 講師

委員: 河原啓子

国立音楽大学、青山学院大学、立教大学ほか 兼任講師  
アートジャーナリスト、アートドキュメンタリー作家(日本文藝家協会正会員)

大島路子

桐朋学園大学音楽学部 非常勤講師

揚石明男

公益財団法人音楽文化創造 常務理事 事務局長

<申請団体数> 22団体

内訳:生涯学習音楽指導員 /地域音楽コーディネーター 5団体、一般 17団体

<助成決定団体数> 13団体

内訳: 生涯学習音楽指導員/地域音楽コーディネーター 3団体、一般 10団体

【団体名】	【企画内容】	【実施場所】
・全国協議会千葉支部	みんなで楽しむ楽器体験&演奏会	千葉県
・貝塚コンサート実行委員会	貝塚駅前コンサート for kids	大阪府
・しまなみJr.オーケストラ	すべての子ども達に音楽を奏でる喜びを	広島県
・一般社団法人Fir-St-Art	音楽体験ステージフェスタ2025	兵庫県
・スタジオオルピナス	オペラの扉をひらこう	北海道
・三味線三昧+	ペットボトル三味線を作って弾いてみよう	京都府
・ライブ御殿山	子ども食堂音楽会	大阪府
・まちなか立寄楽団	たちよってつくるコンサート2025	神奈川県
・たいこらんど	あなたが主役のコンサート	東京都
・湘南 SHOW 点	平和&共生コンサート 2025	神奈川県
・POWER OF MUSIC	みんなでアンサンブル	神奈川県
・Ensemble Espoir	小児がん応援チャリティコンサート	東京都
・スマイルコンサート	リミックファミリーコンサート	千葉県

<実施報告>

●9月13日(土) 第15回「国際音楽の日」おんがくっ子塾～みんなで楽しむ楽器体験&演奏会～

【主催】 全国生涯学習音楽指導員協議会千葉支部

【会場】 千葉市文化センター第2リハーサル室

【活動内容】 ペットボトルや牛乳パックによる手づくり楽器の作成とハンドベル合奏、また、ドラムサークルを通し、音楽を身体全体で表現する楽しさを地域の幼児からシニアまで楽しみながら体験してもらった。

●9月20(土) 貝塚駅前 for Kids

【主催】 貝塚駅前コンサート実行委員会

【会場】 カフェ&コワーキングスペース ポートフォリオ

【活動内容】 初心者でも楽しめるように曲目解説を交えた親しみやすいクラシックコンサートを実施。楽器体験や絵本広場、マルシェなどを併設。学生・地域団体・商業施設との連携が生まれ、「まち全体で文化を支える姿勢」を示すことができた。

●9月23日(火・祝) 第9回定期演奏会 ～すべての子どもたちに音楽を奏でる喜びを～

【主催】 しまなみジュニアオーケストラ

【会場】 尾道市民センターむかいしまこころ

【活動内容】 日頃の練習成果のお披露目と一般参加の子ども達との玩具楽器での共演。楽器体験会も同時に行い音楽の楽しさを地域に広げることができた。

●2025年 9月 27日(土) 音楽体験ステージフェスタ2025

【主催】 一般社団法人Fir-St-Art

【会場】 ふたば学舎 講堂、音楽室、多目的室

【活動内容】 「一日まるっと体験」をテーマに、子ども達を対象に楽器体験(吹奏楽、軽音楽)や大道芸、イベントスタッフなど日頃体験できないことを体験してもらった。また、日頃の練習の成果披露として合同演奏会も実施した。

●オペラの扉を開こう

【主催】スタジオオルピナス

【日程】2025年10月4日(土)、10月5日(日)

【会場】詩と藝術の館ポエティカ(10月4日)、ザ・ルーテルホール(10月5日)

【活動内容】オペラと落語と一緒に楽しめる、また子どもにも理解できる「オペラと落語」のコラボコンサートを企画。オペラは「難しそう」「敷居が高い」というイメージが強いが、それを払拭できるよう様々な工夫を凝らして実施した。

●9月15日(祝)/10月13日(祝)/11月24日(祝) ペットボトル三味線を作って弾いてみよう!

【主催】 三味線三味+

【会場】 岡崎いきいき市民活動センター

【活動内容】 子供だけではなく、大人も一緒になって楽器作りや三味線音楽を楽しみ、伝統音楽への理解を深めてもらった。また、経済的な理由で文化的な活動に参加することの少ないご家庭の子ども達にも配慮して身近なペットボトルを利用して楽器を作成した。

●2025年10月17日(金) 子ども食堂音楽会

【主催】ライブ御殿山

【会場】枚方市立五常小学校音楽室

【活動内容】貧困や孤独に苦しむ子ども達をケアしている子ども食堂とコラボし、そこに通う子ども

達とその保護者を対象にみんなで食事をした後、リミック、童謡、手遊び、生演奏等非日常的な体験を楽しんでもらった。

●たちよってつくるコンサート2025

【主催】まちなか立寄楽団

【日程】2025年10月19日(日)

【会場】横浜市寿町健康福祉交流センター多目的室

【活動内容】経済格差や障害の有無にかかわらず、誰もが音楽を楽しめる機会の提供。ステージだけでなく「まちなかで」社会の一員として演奏すること、団員だけでなく、ふり立ち寄った方も楽しく参加できるように工夫することで、心に寄り添うつながりを広げていくことを目指した。

●あなたが主役のコンサート ～0歳からの音楽の広場～

【主催】たいこらんど

【日程】2025年11月1日(土)

【会場】泉の森会館 音と光の多目的ホール

【活動内容】子ども達の中には大きな声を出したり、踊りだしたりするため、周りの目が気になってなかなか演奏会に連れて行かれないという保護者からの声を聞き、今回の演奏会を企画。思いっきり歌って踊って楽しんで欲しいという思いから演奏、進行、演出などを工夫。当日は演奏者と演奏者の間に立って踊る子、大きな声で歌う子、楽器の近くに来て覗き込んで聴く子などそれぞれの表現方法で楽しんでくれた。

●2025年 12月13日(土)、14日(日) 平和&共生コンサート2025～戦後80年～湘南に響く被爆ピアノ

【主催】湘南SHOW点

【会場】ちがさき市民活動サポートセンター/平塚市美術館ミュージアムホール

【企画内容】戦後80年たっても世界から戦争が絶えない。音楽や演劇を通して「平和」、そして同時に「共生」の大切さも訴えたいと、被爆ピアノによるコンサートと、誰もが参加できる音楽や演劇のワークショップを企画した。

●みんなでアンサンブル

【主催】POWER OF MUSIC

【日程】2025年12月13日(土)

【会場】自由が丘オペラハウス

【活動内容】プロとアマチュアの演奏者が、年齢、性別、障害の有無などの垣根を越えて集い、アンサンブルを通して心を通わせることを目的に演奏会を企画。フィナーレでは、小中大学生たちが、ピアノ、マリimba、フルートで伴奏者となり、聴衆を含めた参加者全員で合唱をした。会場が一体となり、音楽の和により幸せの連鎖を広げる活動ができた実感した。

●小児がん応援チャリティーコンサート

【主催】Ensemble espoir

【日程】2025年12月15日(月)

【会場】豊洲文化センターホール

【活動内容】老若男女問わず、全ての方にクリスマスらしいプログラムを楽しんでいただきながら、小児がんに対する理解を深め、金銭的支援、心理的支援の輪を広げることを目的に実施した。

●2025年12月24日(水) リトミックファミリーコンサート

【主催】スマイルリズム

【会場】八千代市民会館小ホール

【活動内容】日頃コンサートに行けない幼児や障害の有る子どもをお持ちのご家庭の方々を対象に、「音楽ってたのしいね」「コンサートっていいね！」とご家族で共有できるようなリトミックコンサートを企画、実施した。

3. 音楽学習に関する指導員の養成プログラムの開発及び実施

<地域音楽コーディネーター養成講座>

地域の音楽文化振興や音楽による社会貢献活動を推進するため、様々なステークホルダーを結び付け、また、自らも推進役となれる人材の育成を目的に地域音楽コーディネーター養成講座を実施した。対象者は地域において音楽による社会貢献活動に携わっている、または今後そのような活動を始めたいと思っている一般の方々です。受講修了後には、「地域音楽コーディネーター」の資格を認定した。開催形式は、全国各地から手軽に参加できるオンライン形式と講師や受講者同士がより緊密に繋がることが出来る対面式の2パターンで開催した。今年度は以下の講座を実施した。

●養成講座オンライン 7月

実施日:7月6日(日)

対象:一般

受講者数:38名

内容:

(1)生涯学習と音楽

(敬称略)

テーマ:地域音楽コーディネーターの仕事と今日的意義について

講師: 久保田 慶一

日本大学大学院 講師、放送大学 講師、公益財団法人音楽文化創造 理事

(2)文化と地域創生

テーマ:地域音楽コーディネーターが各拠点をつなぐ役割を担う

講師: 渡辺 行野

文京学院大学人間学部児童発達学科・同大学院人間学研究科 准教授

ふじみ野市文化協会 理事、文化振興審議会 委員、学校運営協議会 委員

(3)地域文化マネジメント

テーマ:文化で地域をつなぐ・・・街の先生と学校と、地域をつなぐノウハウ教えます！！

講師: 中村 牧

杉田劇場(横浜市磯子区民文化センター)館長補佐

公益財団法人音楽文化創造 理事

(4)音楽企画書の書き方

テーマ:「ターゲットを明確にして、キャッチフレーズを考えれば、企画は自ずと出来上がる!」

講師: 大谷 邦郎

●養成講座 対面 11月

実施日:11月23日(祝)

会場:Niterra日本特殊陶業市民会館

対象:一般

受講者数: 25名

内容:

(1)生涯学習と音楽 (敬称略)

テーマ:地域音楽コーディネーターの仕事と今日的意義について

講師: 久保田 慶一

日本大学大学院 講師、放送大学 講師、公益財団法人音楽文化創造 理事

(2)文化と地域創生

テーマ:文化を活かしたまちづくり

講師: 広中 省子

ジョイントフェスティバル協議会 会長

(3)地域文化マネジメント

テーマ: 社会貢献活動 — 地域や行政とのつながり —

講師: 藤根 由紀子

NPO法人みらいっこ 理事長、地域音楽コーディネーター、保育園設立 管理責任者、  
知多半島春の国際音楽祭 大府市実行委員長、音楽アウトリーチ事業活動 事務局長、

(4)音楽企画書の書き方

テーマ:音楽企画書をつくる — その意味と活用 —

講師: 生田 創

しらかわホール チーフ・プロデューサー

●養成講座 オンライン 1月

実施日:1月18日(日)

対象:一般

受講者数: 42名

内容:

(1)生涯学習と音楽 (敬称略)

テーマ: 人とのつながりの中で音楽を学ぶことの意味とその支援について

講師: 志々田 まなみ

文部科学省国立教育政策研究所 生涯学習政策研究部 総括研究官  
公益財団法人音楽文化創造 理事

(2)文化と地域創生

テーマ:文化を活かしたまちづくり

講師: 広中 省子

ジョイントフェスティバル協議会 会長

(3)地域文化マネジメント

テーマ：地域連携と音楽活動：誰もが自由で、創造性を発揮できる共生社会の実現を目指して

講師：菊川 穰

一般社団法人エル・システムジャパン代表理事

公益財団法人音楽文化創造 理事

#### (4) 音楽企画書の書き方

テーマ：音楽企画書をつくる ― その意味と活用 ―

講師：生田 創

しらかわホール チーフ・プロデューサー

### ●養成講座 対面 2月

実施日：2月22日(日)

会場：東大阪市文化創造館

対象：一般

受講者数：35名

内容：

#### (1) 生涯学習と音楽

(敬称略)

テーマ：地域音楽コーディネーターの仕事と今日的意義について

講師：久保田 慶一

日本大学大学院 講師、放送大学 講師、公益財団法人音楽文化創造 理事

#### (2) 文化と地域創生

テーマ：音楽の力で街を元気にする

講師：渡辺昌明

東大阪市文化創造館館長、全国公立文化施設協会コーディネーター

#### (3) 地域文化マネジメント

テーマ：持続可能な心に残る演奏会を開催しよう！

講師：安川 裕子

神戸女子短期大学非常勤講師、全国大学音楽教育学会会員

「円」女声ハーモニー、女声合唱団「花みずき」指揮者

#### (4) 音楽企画書の書き方

テーマ：「ターゲットを明確にして、キャッチフレーズを考えれば、企画は自ずと出来上がる！」

講師：大谷 邦郎

グッドニュース情報発信塾 塾長

## 4. 音楽に関する調査研究並びに情報の収集及び提供

### 音楽学習に関する指導員の養成プログラムの開発及び実施

文化庁が推進している「文化庁活動改革(部活動の地域移行に向けた実証事業及び地域文化クラブ推進事業)」に令和5年度、6年度に引き続き参画した。今年度の実証事業は、多くの自治体の共通課題である指導者不足、会場不足、生徒の移動/楽器の運搬問題、顧問の負担軽減、受益者負担の削減等の解決に大変有効な手段の一つと思われるデジタルオンライン技術を活用したデジタル部活動に特化して実証事業を行った。対象地域は、北海道北空知地区の沼田町、北竜町(広域過疎地域)と大阪府枚方市(地方都市)にて実施した。また、より手軽で効果的なデジタル指導を可能にするためにヤマハ株式会社先進技術開発チームの協力の元、デジタル指導オペレー

ションシステム等の検討も進めた。また、12月3日に実施された文化庁主催の自治体オンライン交流会では、弊財団と再委託事業者の近畿日本ツーリストによりデジタル部活動について説明を行った。また一方、部活動指導者の育成については、開発したカリキュラムの活用方法等について一般社団法人全日本合唱連盟を始め民間文化団体との共同展開についての検討を開始した。

① 北海道北空知地区(沼田町、北竜町)に関する調査研究

【実施日】 第1回(6/28)、第2回(7/3)、第3回(7/5)、第4回(7/12)、第5回(7/17)

【対象校】 沼田中学校、北竜中学校

【実施内容】 1回～3回は各校ごとの木管、金管、打楽器別パート練習  
4回から5回は2校合同の合奏練習

【実施後の反応】 生徒、顧問、教育委員会から好評を得る。次年度も地元楽団、北海道教育大学岩見沢校の協力の元デジタル部活動を導入することに決定

② 大阪市枚方市での調査研究

【実施日】 第1回(10/11)、第2回(10/25)、第3回(11/29)、第4回(12/13)

【対象校】 招堤北中学校、長尾中学校、中宮中学校、杉中学校

【実施内容】 部員の少ない3校による合同部活動(招堤北中学校、長尾中学校、中宮中学校)  
強豪校1校(杉中学校)に対するトライアル指導

【その他の事業】

5. 音楽に関する出版物の編集及び発行

音楽文化創造のWebサイトにて4回掲載いたしました。

(敬称略)

Vol.32 特集「音楽を語る楽しみ」

生涯学習音楽を考えていく際、演奏や歌唱の享受、指導、伝達等の実践に焦点を当てがちだが、音楽文化の裾野として、楽曲を聴き、その良さや好きなポイントを語って共有する、という営為がある。一方で、音楽の享受が私的な形に変化していき、音楽語り(音楽批評、趣味の共有)が難しくなっているという捉え方もある。今回は、「音楽を語る楽しみ」について、現在そして今後どのような可能性があるか、音楽クリエイター、メディア社会学者、教育学者等の多様な視点から考えていきたい。(本誌リード文より)

●巻頭インタビュー：音楽クリエイター ヒヤダインさん「批評なき音楽語りという困難」  
インタビュー

桃山学院大学 長崎 励朗

聖路加国際大学 歌川 光一

公益財団法人音楽文化創造 中西 良

●「音楽語り」の自由とムダ

桃山学院大学社会学部 准教授 長崎 励朗

●音楽語りという教養の「ため込み系/たしなみ系」

聖路加国際大学大学院看護学研究科・准教授 歌川 光一

### Vol.33 特集「非認知能力と教育・音楽」

近年の教育界では、知能検査や学力検査で測定される「認知能力」のみならず、それらでは測定できない「非認知能力」の育成が一層重視されてきている。知識や情報が急速に変化し、将来の予測が困難なこれからの社会において、非認知能力はより重要な役割を果たすものと考えられる。音楽の学習や教育における「非認知能力」の検討は、今後の実践において多くの示唆を与えることだろう。本特集では、「非認知能力と教育」「音楽教育における非認知能力」「教育実践にみる音楽と非認知能力」「海外の教育における音楽の役割」の4つの視点を検討のための手がかりとして示したい。(本誌リード文より)

- 非認知能力の基礎知識と教育における重要性  
早稲田大学文学学術院・教授 小塩 真司
- 幼児の音楽教育と非認知能力—実行機能に関する基礎研究から—  
東京学芸大学・准教授 水崎 誠
- 子どもの世界の文脈と非認知能力の発揮  
奈良女子大学附属幼稚園 松田 登紀
- 「音楽」が生成する学びの空間 シュタイナー教育にみるピュシスとしての音楽創造  
東京学芸大学・准教授 小西 公大

### Vol.34 特集「障がいを持つ方の音楽との関わり」

障がいのある方々が音楽とどう関わっているのか、そして、その関わりにはどんな様相が見られるのかに注目した特集です。視覚に障害がありながらも卓越した音楽家として活躍している例は辻井伸行さんを筆頭にいくつでも挙げられます。聴覚に障がいがある方と音楽の関係についても取り上げ、どのように音楽が聴こえるのか、そして、教える際の留意点についても述べてもらうことにしました。本特集は「視覚障害と音楽」「聴覚障害と音楽」「障がいのある方による音楽イベント」の3つの視点で構成されていますが、音楽の意義と本質をとらえなおす機会となることでしょう。(本誌リード文より)

- 視覚障害と音楽  
筑波大学附属視覚特別支援学校 熊沢 彩子
- 聴覚障害と音楽  
国立大学法人筑波技術大学名誉教授・元学長  
日本財団電話リレーサービス理事長 大沼 直紀
- OPEN THE DOOR! ～明日に向かって! —障がいのある人たちと舞台表現を楽しんだ21年—  
NPOいちぶんネット代表理事  
劇作・演出 市民文化プロデューサー 吉原 廣

### Vol.35 特集「生涯音楽学習・地域・教育—高等教育、社会教育の動向」

地域と教育の関係の再編の中で、生涯音楽の位置づけにも変化が生じる。高等教育については、「我が国の「知の総和」向上の未来像 ～高等教育システムの再構築～(文部科学省、2025年2月)では、人口減少や大学進学者の減少が見込まれる中、大学の役割として、社会との接続・連携強化、人材育成等を核とした地方創生の

推進などが謳われている。社会教育については、学びを通じて、人づくり、つながりづくり、地域づくりに中核的な役割をはたす専門人材である「社会教育士」制度が開始され5年が経過した。今回は、高等教育、社会教育の専門家にこれらの状況についてご報告いただく。(本誌リード文より)

●音楽を学べる私立大学の地域配置と経営

信州大学・講師 松宮 慎治

●東京学芸大学アート・アスレチック教育センターの試み ―音楽を通じた地域連携活動を中心に―

東京学芸大学 音楽・演劇講座教授

アート・アスレチック教育センター長 中地 雅之

●文化を開く場としての文化施設の「公共性」 ―「開く」と「閉ざす」とのはざままで

東京大学大学院学際情報学府博士後期課程

日本学術振興会特別研究員DC 横山 詢

以上